




世界に希望を生み出そう
2023-24 年度 RI テーマ
CREATE HOPE
in the WORLD
国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー

Weekly Bulletin

藤枝南ロータリークラブ 会報

例会：毎週金曜日
会場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30
TEL：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内
TEL：054-646-3919 FAX：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2023-24 年度
会長：渡邊博文 副会長：漆畑雄一郎 幹事：富澤賢一 副幹事：中山恵喜

例会 第 1526 回 通常例会/小杉苑

ソング：我らの生業、小さい秋みつた ソングリーダー：佐野博己君

■ 会長挨拶

渡邊博文君



まだまだ、日中は暑い日が続いています。月初に、今月は、クールビズでも大丈夫ですと申し上げましたが、真っ赤なネクタイをしてきました。会長就任時に、会長幹事に地区から配られたネクタイです。バッジも 3 種類。会長バッジ他、地区バッジ、今年度の RI のマークのバッジをしてきました。10 月 14 日、15 日と浜松にて開催された地区大会仕様で本日は参りました。

やはり、地区大会のメインは、当クラブの若林秀典さんがガバナーノミニージェグネートとして正式に大会にて紹介されたことです。私と森竹さんで、会場の最前列で写真撮りました。若林さんの挨拶があるかと思いましたが、紹介のみで肩透かしを食らいましたが、とても誇らしく感じました。若林さんには、次回の例会にてお話をたっぷり皆さんにしてもらいます。

地区大会には、何回か参加してきましたが、RI 会長代理歓迎晩餐会参加は初めてです。大変華やかで、上品な歓迎会でした。出席者は、総勢 260 名です。パストガバナー、他地区のガバナー、外国からのお客様、地区役員関係者、地区内会長、幹事・研修リーダーなどです。そして、大会全体の登録者は 1449 名、地区外、米山奨学生、学友、

交換学生、IAC、RAC、など含め参加者は、総勢 1658 名です。大会会場のアクトシティ大ホール 3 階まで用意されていました。また、大懇親会場も大会会議場のすぐ横に用意されており、移動もスムーズに開催されました。あと数年後に藤枝近辺にてこの大会が開催されることを思うと、緊張感でいっぱいになりました。

印象に残ったことは、地区指導者育成セミナーでのパスト RI 会長代理の中村靖治さんのお話でした。ロータリーの成り立ちの話をされ、ロータリーの精神は、「職業を通じて他者にサービスをすることである」「我々の仕事は天職である」「全ての仕事が、社会から存在を、サービスを必要とされている」すなわち、一生懸命誠実に仕事をすることが、ロータリー精神であり、社会サービスに繋がっているということです。大変勇気づけられました。

本日は、前年度第四グループのガバナー補佐の鈴木義弘さんがお見えになりました。来年のロータリーの賀詞交歓会にて鈴木さんにプログラム委員会よりお願いがあるようです。昨年の IM でもご披露されましたが、鈴木さんはオペラ歌手としても活躍されています。新年の素晴らしいスタートが切れることを祈念します。

本日の例会は地区大会報告となっています。17 名で行ってまいりました。報告される方、よろしく願いいたします。

■ ビジター

2022-2023 年度ガバナー補佐
榛南ロータリークラブ 鈴木義弘様
歴史オペラプロジェクト代表 斎藤大輝様

以上、簡単ではございますが、地区大会出席の報告とさせていただきます。
お時間を頂きありがとうございます。



杉山茂範君

地区の公共イメージ委員会に出向させていただいている関係で10/15(日)の2日目浜松アクトシティに

参加させていただきました。これまで Zoom での委員会開催で委員会メンバーとも画面上のお付き合いだけでしたので、今回リアルにお目に掛かれるチャンスを期待していましたが、残念ながらそんな機会には恵まれず、恥ずかしながら地区大会中名刺交換は1度もしていません。

行きは「浜松は駅前に立派な会場があつていいなあ。」と思いながら会場に向かったわけですが、会場への案内看板らしきものを見つけられず、引率者の中山君の好リードのおかげで何とか会場に辿り着きましたが、我々の席がわからず着席したのは開会の点鐘後でした。

ちょうど壇上には各クラブ会長が登壇されていて、我が藤枝南の渡邊会長が我々を見つけ手を振ってくれ、とてもうれしく思いました。そこにはガバナーがまさかの「どうする家康」にあやかって黄金の甲冑を身に着け登場していました。その後壇上では(さすがに黄金の甲冑は脱ぎましたが)ガバナーと副ガバナーで司会進行をされ、参加者に向かって直接自分が言いたいこと伝えたいことを思い切り自分の言葉で表現され、とても迫力があり圧倒されました。

忘れてはならない我々にとってこの大会のもう一つ重要なことはデジグネートの紹介です。このために参加された方もいらしたと思うのですが、実際には登壇されただけで一言も発言できなかったのは残念でした。残念ついでに言うと大会旗の伝達で肝心な大会旗が見当たらないというアクシデントは初めて体験しました。

数年後この地区大会を我が藤枝南クラブがホストとして開催するのかもしれないと思ういろいろな想い、期待と不安が交差しますが、今回こうして地区大会に参加させていただきよい経験をさせて

いただきました。ご一緒させていただきました皆様にも感謝申し上げます。ありがとうございました。



古川賢吾君

地区大会の感想・印象は、「兜に始まり兜に終わった」感じでした。批判ではありませ

んが、もう少しそれぞれの人にスポットライトが当たればよかったですと思いました。私は、現在地区の会員増強委員会に出向しており委員会でも、今年は学友さんとの繋がりを深くしています。そこで少し青少年奉仕のプログラムをこの機会に自分なりに調べてみました。間違っていたらご指摘ください。まずは、ロータリー財団プログラム関係が2つほどあります。1つが「ロータリー財団国際親善奨学生学友」、もうひとつが「GSE」です。ロータリー財団国際親善奨学金は、ロータリー財団の最も古く、よく知られているプログラムで、1947年に創設されました。これにより、毎年約800~1300名程度の財団奨学生が派遣され、今日では、民間団体が提供する海外留学奨学金としては、世界最大のものとなっています。研究グループ交換(GSE)は、専門職務経験の浅い25~40歳の人々に、文化と職業に関する交流の機会を与えるものです。チームは、4週間から6週間を外国で過ごし、自分の職業と同じ分野の活動を見学したり、受入地区で異文化経験に浸り、ホストファミリーや地域の人々と親睦を深め、クラブ例会や多様なロータリー活動でロータリアンと共に活動します。そしてロータリープログラム関係が4つあります。1. ロータリー青少年交換 ROTEX、2. インターアクトクラブ、3. ローターアクトクラブ、4. ロータリー米山記念奨学生学友です。ロータリー青少年交換は、世界100カ国以上で実施されているロータリー青少年交換は、ロータリークラブによる支援の下、15~19歳の学生が海外に滞在し、言語や文化を学びながら、海外に友人をつくり、世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムです。インターアクトクラブでは、12~18歳の中学・高校生が、地元でのボランティア活動や海外のインターアクト会

員（通称「インターアクター」）との交流を通じて視野を広げ、国際感覚を養っています。ロータリークラブの支援を受けて設立されるインターアクトクラブでは、友だちと一緒に楽しみながらロータリーの「超私の奉仕」を学び、行動力を身につけます。ロータリーアクトクラブは、18歳以上の人が集まって、地域社会のリーダーと意見交換したり、リーダーシップと専門的なスキルを育みながら、楽しく奉仕活動を行います。最後に、ロータリー米山記念奨学会プログラムは、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアン（ロータリークラブ会員）の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援するプログラムです。地区大会通して、ロータリーについて少しですが学ぶことができました。



森竹正晃君

1 サラット運営
スタートから、ピアノを含む、生の音楽演奏が、浜松という土地柄の良さ

地区大会と言いますと、地区役員の方の挨拶の時間が長く、始めから重たいイメージがありますが、意外と挨拶も少なく、音楽と画像での演出が全体を重く見せずに、サラット思わせる様な運営していたと思います

2 簡素化された運営

駅からのご案内物が少なく、会場内でも誘導表示板も少なく感じました

メインの司会者は、ガバナーが行って、大懇親会は、ホストクラブの会員で行っていた懇親会での料理の量と、お酒も必要（希望者）に応じて用意されて、簡素化された運営でした

3 奉仕と友情の半世紀テーマの大会運営

山梨・静岡地区本年度で地区創設50周年を迎えた

国内外の地区の方々、海外では第3820地区、第5280地区の方々のご紹介、米山学友・奨学生のご紹介し、テーマである友情を確認出来た第2620地区内では、ガバナー表彰、満90歳以上の会員、30年間100%出席者に表彰を行って、大会テーマを実施していた



例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
10/27(金) 第 1527 回	会員卓話	小杉苑
11/10(金) 第 1528 回	会員卓話	理事会
11/17(金) 第 1529 回	外部卓話	小杉苑
11/24(金) 第 1530 回	外部卓話	小杉苑



今週の一言

平原望 君



私が続けていることで本日はご紹介するのは、家では食後に必ずアイスクリームを食べることで

最近ハマっているのが、ネーミングが少々微妙なのですが、“おっぱいアイスマルク”です。

このアイスは、高知県の久保田食品という会社が販売を始めて全国に広がりました。

私は近所の静鉄ストアで毎週欠かさず購入しております。

ゴム風船の様なゴム容器に入っており、その先っぽを切ってチューチュー吸って食べるのですが、バニラビーンズの香りが溢れてしっかりとしたミルク味でこれが非常に美味しく、それでいて添加物等は一切使用しておらず、疲れた体を思い切り癒してくれます。正に“おっぱい”です！

以前は僭越ながら、ハーゲンダッツアイス等をお食べしておりましたが、ハーゲンダッツはミニカップで1個325円くらいだと思いますが、おっぱいアイスは120円と、私にとってはコストパフォーマンスも非常に高いです！！

この絶妙の幸福感を与えてくれるおっぱいアイス、止められません！！

一般社団法人歴史歌劇創造プロジェクト

海抜標

歴史×オペラ
新たな創造活動
芸術文化振興

新編 賛助会員 募集します

通常個人会員 2,000円
特別個人会員 5,000円
法人・団体会員 30,000円

要相談

一般社団法人歴史歌劇創造プロジェクト
〒780-0044 高知県高知市下土佐1-1-1
TEL: 095-945-1100
FAX: 095-945-1101
E-MAIL: info@hisstoryopera.com
URL: https://www.hisstoryopera.com/

歴史歌劇 演奏会形式～

～日本語上演・字幕付き～

井伊の隠し子

主催 (社)歴史歌劇創造プロジェクト
2023年12月17日(日)
午前公演 10:30～12:10
午後公演 14:00～15:40

料金 大人 800円 / 中学生以下 400円 (中席未満席込)

場所 藤枝市郷土博物館・文学館 講座学習室
住所: 藤枝市若王子5-0 TEL: 054-945-1100

静岡県内外で活躍中のオペラ歌手が大集結
作曲 斎藤大輝 / 脚本 見崎悟史

～豪華キャスト陣～
井伊直孝 月形竜 / 井伊直虎 船山光輝
マサ 関川夏生 / 歌守忠 津島真子
徳川家康 鈴木龍夫 / 徳川 秀頼次郎
水原守勝 志村文也 / 龍之助(マサヨシ) 伊藤文子
文子 / 加藤幸子 高橋真由 金澤幸雄
濃原の白鳩 / 川島春樹 松本 百合香 堀島真由
藤田文雄 / 伊藤健太郎 坂本美樹 山田真
ピエ / 櫻井大輔 / 中野 聖徳 徳島 大輔 大塚 大輔

チケット11月19日(日)より販売開始。電話・Eメールにて予約受付が付けます。
但し、12月17日(日)12:00～12:10は11日現在開催中の公演と重複します。

藤枝市郷土博物館・文学館
電話: 054-945-1100 / FAX: 054-945-1101
メール: hisstory@ryujima.or.jp



(担当/森竹君)